



笠山

阿久根市立三笠中学校

学校便り 10月号

校訓 自主 協調 持続

キャッチフレーズ

「凛とした生徒の育成
良さを見つけ、引き出し、
伸ばすみかさの教育」

「つなぐ」に思う 最近、「つなぐ」ということについて考える機会がいくつかありました…。

○ 命をつなぐ ～ 命の尊さを考える授業 ～

本校では生き方について考える「心の日」を本年度5回設定しています。9月13日には相田みつをさんの詩や、少女が世話していた牛が食肉センターで精肉に加工される物語「命をいただく」（坂本義喜著）をもとに命の尊さを考える授業を行いました。生徒たちは自分の命が代々つながれてきたものであることや、生きるということは多くのものに支えられていることだということを改めて考えたようでした。



命の尊さ

父と母で二人
父と母の高齢で四人
そのまた高親で八人
（うしろを）をさすてゆくこと
十代前まで二十五人
二十代前では一万人
なんと百万人を越すんです
過去無量劫
今もここに
自分の命を生きていて
あなたがいぬらです
あなたがわたしの
いのちです
みつを

命のバトンつなぐ
三笠中3年 鳥飼 大政

「今、こうして生きてい
るのは誰のおかげなのか」。
命の授業で校長先生が、全
校生徒に質問した。もし、
僕が指名されたら答えられ
なかつたと思う。誰、もし
くは何のおかげで、自分が
生きていられるのかを考え
ると「何」という限定的な
答えを自分の中で見つけら
れないからだ。

自分が誕生した瞬間なら
「父と母」と言えるかもしれ
ない。しかし、校長先生が
言ったように、父にも母に
も両親がいて、その前にも
数え切れないくらいにき
んの人々が存在するのだ。
加えて、人は何かを利用
しなければ生きていけな
い。食肉に加工され、死ん
でしまった牛さえも何かを
食べて育ったわけだ。その
牛を自分が食べて生きてい
る。そうやって命のバトン
がつながれていくのだから、
僕が今、存在している
のは、さまざまに人々や動
植物のおかげなのだと思
った。

これから先、今まで支え
てくれた人たちが食べてき
た物、全てに感謝しながら
生きたい。そして命を無駄
にせず、僕までつながって
きた命のバトンを、落とさ
ないようにつなぎたい。

▲ 南日本新聞「若い目」H29. 10. 17 掲載

○ タスキをつなぐ ～ 地区中学校駅伝競走大会 ～

10月4日、県大会の予選を兼ねた地区中学駅伝大会が開催され、本校からも男子2チーム、女子1チームが出場しました。本大会は学校対抗であることから本年度は校内選考会を行い、三笠中ベストチームを編成し、臨みました。駅伝はチームの思いを込めたタスキをつないでいく競技です。前の走者の頑張りを受け継ぎ、自分も負けじと頑張る、次の走者に託す競技です。生徒たちは「オール三笠」の心を十分発揮し、力走を見せてくれました。



結果：男子の部（23チーム出場）Aチーム 9位、Bチーム 14位、女子の部（22チーム出場）10位

○ 歴史と伝統をつなぐ ～ 地区新人戦・生徒会立会演説会 ～

地区新人体育大会が10月11日・12日に開催されました。6月の地区総体以降、本校の各部でも1・2年生中心の新チームを結成し、先輩たちが築いてきた伝統を引き継ぎ、さらに新たな目標達成に向けて練習に励んできました。大会では各部とも健闘し、また、今後の課題も見えてきたようです。これを解決していくのが練習です。これからの各部の更なる飛躍を願います。

また、10月25日には新生徒会役員を決める選挙を行いました。各候補者とも現在の三笠中への思い、そして今後どんな学校にしていきたいか等を堂々と述べました。学校の歴史と伝統を引き継ぎ、校風を作っていくのはまさに生徒たちです。新生徒会役員を中心にした取り組みに大いに期待しています。

（校長 四元 清路）

2年生は10月18日～20日の3日間、職場体験学習を行いました。生徒たちは働くことの意味や意義や実感するなど、充実した学習となりました。ご多用の中、生徒たちのためにご協力くださいました おりた保育園・文旦保育園・出水郡医師会広域医療センター・グループホームはまゆう・内山病院にぎわい交流館あくねや・麵処はし脇本店・古賀建設・阿久根消防署・阿久根市立図書館・パン工房パンAコープ鹿児島三笠店・富浜書店・九州ファミリーマート黒之浜店・アクネススポーツ・ケイエスケイ・京田園ファッションセンターしまむら・道の駅黒之瀬戸だんだん市場・スターゼンミートプロセッサー阿久根工場・北さつま漁業協同組合黒之浜支所・プーランジェリー・サンセリテの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございます。

職場体験学習の協力ありがとうございました！

全国学力・学習状況調査の結果について

3年生を対象に4月18日（火）に行われた全国学力・学習状況調査の結果は以下の通りでした。

国語、数学ともに記述式の正答率が低かったです。本校では学力向上に向け下記のような事柄に取り組んでいきます。

国語は、「文章の要旨を捉え、文章の構成や展開、表現の特徴について理解している」という問題の正答率が低かったです。見出しに注目する読み方や中心部と付加部分を読み分ける力をつけるような指導を行います。

数学は、数と式、図形、関数の領域で技能の観点で正答率が低かったです。問題を繰り返し取り組むことが不足していたと考え、演習問題に取り組みせ学力の向上を図ります。また、授業のまとめを記述させ表現力を身に付けさせる取り組みも行います。

本校では、上位と下位の学力差が課題となっています。3年生の数学の授業は2人の教諭が教室に入るティーム・ティーチングを実施し、生徒一人ひとりを大切に授業を進めています。

質問紙では、「学校の宿題をしている」が100パーセントでした。知徳をみがく（宅習）、漢字、英宅などが定着されているようですが、その内容や取り組み方が課題となっているため、担任、教科担任、教育支援員などが協力し家庭学習の点検や訂正を行い、家庭学習を通じた個別指導にも取り組んでいます。

3年生は実力テストを10月27日に行いました。これから三者面談も計画され、直面する進路に向け大詰めになります。生徒は目標に向かって学習に取り組んでいます。適切な食事、睡眠などによる規則正しい生活を過ごす中で、学習時間を確保し学力向上に取り組むなど、学校（指導法改善などによる学力の定着）と家庭（確かな家庭学習による学力の定着）の二輪で生徒を育てることが大切です。

全国学力学習状況調査結果

	国A	国B	数A	数B
自校	74	67	61	44
市	73	67	55	40
県	75	70	61	46
県差	-1	-3	±0	-2

県音楽研究会 授業公開

10月13日（金）に、県音楽教育研究大会の授業公開を本校で行いました。題材を「合唱の喜びを味わおう」とし、3年1組の生徒の授業を体育館で公開しました。

生徒は、話し合い活動を通して発表をするなど、積極的に授業に取り組み、最後は全員で合唱をして授業は終わりました。授業参観に来られた先生方は、生徒の様子に感心され、多く賞賛をいただきました。

P T A 役員の皆様には、授業参観に来られた先生方の駐車場への誘導など協力していただき感謝いたします。



職場体験の様子

生徒は3日間の職場体験学習を通して、職業に関する知識や技能・技術に触れたことで、働くことの意義や喜びを感じたようでした。



11月の行事予定

日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
1	水	フリー参観（7日まで）	15	水	期末テスト（17日まで）
2	木	学習発表会、3年PTA	17	金	避難訓練、数学検定
6	月	いい歯につきり三笠週間（11日まで）	20	月	保育実習（3年2組）21日（3年1組）
8	水	家庭学習強調週間	30	木	P T A 文化部読み聞かせ活動
10	金	テスト前部活動休止			